

江津市

# ダンボールコンポスト モニターマニュアル



江津市地球温暖化対策推進協議会

# ダンボールコンポスト取扱説明書

## ① 配布材料

- ①ダンボールコンポストマニュアル・・・ 1部
- ②ピートモス・・・・・・ 1袋(20ℓ)
- ③もみ殻くん炭・・・・・・ 1袋(10ℓ)
- ④ダンボール箱・・・・・・ 1個
- ⑤底敷き用ダンボール・・・ 1枚
- ⑥虫よけカバー・・・・・・ 1枚



## ② 基材のセット

- ①ダンボールを組み立てる。(底面、側面継ぎ目をしっかりガムテープでとめる)
- ②ダンボールに**ピートモス**(20ℓの約3/4)、**もみ殻くん炭**(10ℓ)を入れてよくかき混ぜる。
- ③ダンボールの上に**布カバー**を被せる。

## ③ 設置場所

- ◆雨がかわからず、風通しのよいところ。
- ◆底からも箱の中と空気が流通するように網目状の台(ビール瓶ケース等)の上に置く。(板の上やコンクリートの上に直接置かないでください)



## ④ 使い方

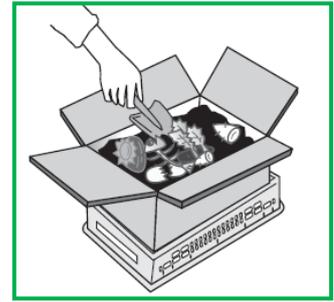
①生ごみを入れましょう。→1日に500g～1,000g。

②よく混ぜましょう、箱を破らないよう注意。

③分解が進むと（1週間ぐらい待つ）温度が上がります。

④虫よけカバーを必ずかぶせましょう。→忘れるとハエなどが卵を産みウジ虫がわきます。

⑤おおむね3ヶ月で分解が止まりますので、生ごみの投入を止めて後1ヶ月ほど熟成期間として置いてください（1週間に1回程度混ぜる）。



## ☆アドバイス

①生ごみを入れるたびによくかき混ぜましょう。

②投入しない方がよいもの

- ・トウモロコシの皮・芯、ぶどうや梅干などの種
- ・鶏がらや肉の骨
- ・シジミやアサリなどの貝殻
- ・玉ねぎの外皮（茶色い皮）

③温度を上げるには、油かす、米ぬかや糖分を加えましょう。



## ★★ 自作で挑戦ダンボールコンポスト ★★

### 用意するもの

- **ダンボール箱**（大きさは縦・横・高さそれぞれ 35 cm ぐらい）

※ 断面が二重構造が望ましい。 **みかん箱** など丈夫な箱を選びましょう!!



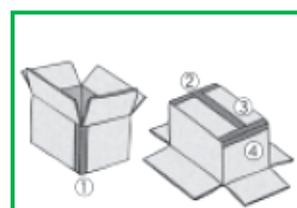
### ● 基材

- ① **ピートモス**（15 リットル）
- ② **もみ殻くん炭**（10 リットル）
- ③ **虫除けカバー**（コンポストキャップ）

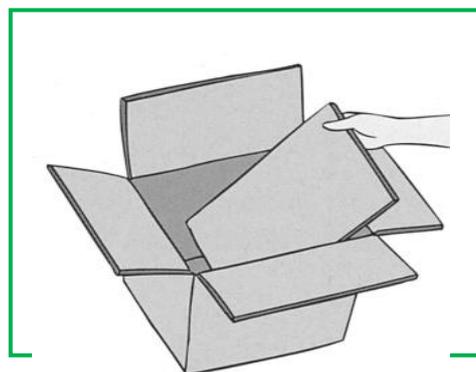
市内のホーム  
センターに売  
っています!!

### ※ダンボールコンポストの組み立て方

①右図のように 4 カ所をガムテープ又は  
テーピングなどでめばりしてください。



②水分により底部が劣化しやすいので、底を段ボールなどで補強しておきましょう。

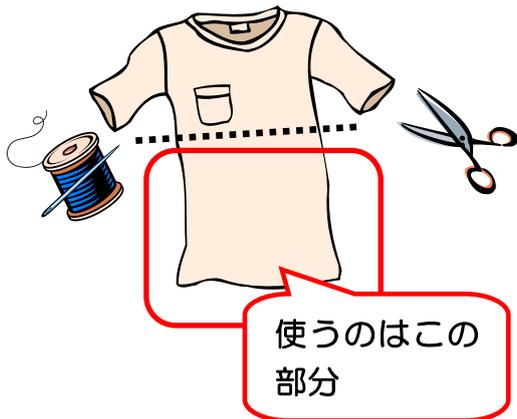


## ※「虫よけカバー」の作り方

### 《Tシャツ》

要らなくなったTシャツ（Lサイズ）でカバーを作る。

- ①Tシャツ（伸縮性のある服等）の胸より下部分を一直線に縫います。
- ②縫った部分の上をハサミで切り、袋状になった下部分をダンボールコンポストのカバーとして使います。



使用するとこんな感じ

### 《バスタオル》

バスタオル等でカバーを作る。

- ①バスタオルをダンボールにかぶせ、バスタオル等が取れないようにヒモ・ゴム等で結ぶ。



## ⑤ ダンボールコンポストQ&A

### Q1 悪臭が発生しました。

**A1** 悪臭の原因は、生ごみの量が多すぎて水分過多になっているか、生魚、肉類などの投入量が多く、アンモニアの発生が考えられますが、**殆どは攪拌不足からくるものです。**対策として、一時的に生ごみの投入を中止して、底からよく混ぜるなどして分解促進をはかりましょう。1日～2日すればおさまります。

### Q2 うじ虫が発生しました。

**A2** 微生物が好きな糖質のものを投入し温度の上昇をはかりましょう。60度近くが理想的です。それでもだめな場合はビニール袋に全部移し、袋の中の空気を抜いて天日干ししてください。日差しが強い日であれば1日でうじ虫は死滅します。ビニール袋に入れて数日間放置すると、酸素不足で嫌気性の菌が働き悪臭が出ますので注意してください。

### Q3 生魚の内臓や骨を入れてもいいですか。

**A3** 大丈夫です。カロリーが高いのと、内臓自身に分解酵素があるため分解が活発になります。臭いが少し強くなるのは、たんぱく質が分解するときにアンモニアが発生するためです。

### Q4 塩分が多い食べ物を入れてもいいですか。

**A4** 私たちが食べている程度の濃度であれば気にしなくて大丈夫です。濃度が高い場合は塩抜きして入れる方がいいでしょう。  
煮物の残りなどは1回水洗いをして投入することをお勧めします。

### Q5 廃食油（てんぷら油など）を入れてもいいですか。

**A5** 少量であればそのまま入れても大丈夫です。分解が活発になり高温になるので虫が発生したときなどや、冬場の気温が低く分解が遅い場合にはおすすめです。



## Q6 生ごみを入れるときに注意する点がありますか。

**A6** 繊維質のもの（野菜類）や、硬いものは小さくして入れるほうが、分解が早く、混ぜるのも楽になります。

## Q7 旅行などで留守をすることがあるのですが。

**A7** 大丈夫です。旅行などに出かける場合は2、3日前に投入をやめて、分解を進めておくことをお勧めします。乾燥が早いため未分解のまま乾燥する場合がありますが、再開後、よく攪拌をすれば大丈夫です。放置している間にダニのえさになることもあります。再開した後に堆肥の中の温度が上がれば問題ありません。

## Q8 分解が遅すぎるようなのですが。

**A8** 水分不足かカロリー不足です。ダンボールでの堆肥づくりの場合、水分不足での相談件数が一番多いようです。米のとぎ汁などで水分補給をしましょう。野菜中心の生ごみの場合は、カロリー不足でなかなか温度が上がりにくいです。時々ひとにぎりの米ぬかや、糖質のものなどを投入するといいです。

## Q9 出来上がった堆肥の使用について。

**A9** 約3ヶ月で生ごみの投入を終了し、その後1ヵ月ほど熟成期間を置くと堆肥として使用できる状態になります。

畑・花壇には坪当り約4kg、鉢やプランターには20%程度混ぜて使ってください。



ダンボール  
コンポスト  
って楽しいよ!

□問い合わせ先□

江津市地球温暖化対策推進協議会 事務局

江津市江津町 1525

江津市 市民生活課 生活環境係

TEL 0855-52-7936

Fax 0855-52-1557

e-mail : [shiminseikatsu@city.gotsu.lg.jp](mailto:shiminseikatsu@city.gotsu.lg.jp)

